

SCANDIQUICK

取扱説明書

SCANDIQUICK は A 剤と B 剤を混合するタイプの 試料埋め込み用速乾性常温硬化アクリル樹脂です。硬化後は半透明のオレンジ色になります。

- SCANDIQUICK A 粉末 1kg
- SCANDIQUICK B 液体 750ml

商品の特性

SCANDIQUICK は、室温 21°C の場合約 15 分で硬化します。

取扱いは簡単ですので、急ぎの試料作製に適しています。

使用する際に圧力や熱を加える必要はありません。適度な硬度と耐摩耗性があります。

また、容易に切削や研磨ができます。試料に非常によく密着し、酸や溶剤に対して耐性があります。

表面を特に固くしたい場合や境目[エッジ]の明瞭度を高めるために、硬化安定剤 AEQUIDUR を加えることもできます。AEQUIDUR は試料の硬度によって[S-軟質試料用, M-中質試料用, H-硬質試料用]の3種類をご用意しております。これらを使用することにより、試料の材質(アルミニウム等の軟質試料からカーバイド金属等の硬質試料まで)に合わせて、樹脂の硬度を調節することができますが、硬化時間が非常に速いため、迅速に作業を行う必要があります。

使用前の準備

埋め込みの質をよくするため、埋め込み作業をする前に試料をよく洗浄し、脱脂してください。脱脂にはアセトンを使用することをおすすめします。

埋め込みカップは SCAN-DIA 製の SCANDIFORM(シリコンラバー製)が特に適しています。

カップの内壁と試料の間に 2 mm 以上の隙間ができる大きさのカップをお選びください。

室内の換気を良くし、火気に注意してください。

SCANDIQUICK B(液体)は、輸送用キャップを取り外し、付属の注ぎ口付きキャップを差し込んでください。

混合

容積比による混合

SCANDIQUICK A (粉末)2 に対し、SCANDIQUICK B (液体)1 で混合してください。

付属のスプーンを使用して計量すると簡単です。SCANDIQUICK A 用スプーンは 16ml、SCANDIQUICK B 用スプーンは 8ml です。

重量比による混合

SCANDIQUICK A（粉末）100%に対し、SCANDIQUICK B（液体）60%で混合してください。
計量・混合には、SCANDIA 社製の目盛り付きカップ（#91192）が便利です。

使用手順

A 剤と B 剤を混合してから 3 分以内に、型に注ぐ作業を完了してください。

- ① 目盛り付きカップに A 剤（粉末）を入れ、その後 B 剤（液体）を注ぐ。
- ② ガラスの攪拌棒で、粉末が均一に液体に混ざるまでよく攪拌する。（約 30 秒）
- ③ 混合液を埋め込みカップに 2～3mm 注ぎ込む。
- ④ プライヤーを使って、底の混合液に少し押し付けるようにして試料をカップに入れる。
試料の下側に泡が取り込まれないように注意してください。
- ⑤ 混合液をカップの上縁から約 1 mm 下のところまで注ぐ。
試料の大きさにもよりますが、硬化中の化学反応によって、試料の温度は 90～110℃になりますのでご注意ください。

備考

SCANDIQUICK を使用した場合の SCANDIFORM の埋め込み耐用回数は、およそ 100 回です。
カップの劣化を防ぐため、他の樹脂との併用は避けてください。
他の樹脂を使用したカップを SCANDIQUICK での埋め込みに使用しないでください。

器具の洗浄（カップ、攪拌棒、その他）

作業後ただちに器具をペーパータオルで拭いてください。樹脂は一度硬化してしまうと取り除くことはできなくなります。

保管

SCANDIQUICK（樹脂および硬化剤）は、乾燥した涼しい場所で保管してください。
適切に保管（20℃、蓋や袋をきちんと閉じる）した場合の使用期限は約 1 年です。

フリツチュ・ジャパン株式会社 有限会社フリツチュラボシステム

U R L : <http://www.fritsch.co.jp> E-mail: info@fritsch.co.jp

本 社	〒231-0023 横浜市中区山下町 252	TEL. 045-641-8550 FAX. 045-641-8364
大阪営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-2-7	TEL. 06-6390-0520 FAX. 06-6390-0521
福岡営業所	〒819-0022 福岡市西区福重 5-4-2	TEL/FAX. 092-707-6131